

大甕小学校通信

令和3年12月23日(木) 文責：校長 佐藤 伸洋



第2学期の教育活動を振り返って…。

8～10月の期間中はもちろんのこと、11月1日(月)ふくしま教育の日、1日(月)～7日(日)ふくしま教育週間の期間中、そして中旬にも、ご来校くださりましてありがとうございました。子どもたちの姿はいかがだったでしょうか。私自身日々感じるところではありますが、子どもたちは実に懸命に活動しています。活動のほんの一部になりますが、ご来校の際に、その懸命な様子をご覧いただくことができたのではないかと思います。通知票の記載内容のみならず、実際に目にした子どもたちの姿を含めて、是非ご家庭でも称賛のきっかけにしてください。

「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」とよく言われますが、第2学期終業日改めて、ご家族の皆様、地域の皆様の御理解と御協力、力強い支えがあって、教育活動を円滑に進めることができたのだと感じています。引き続き、地域を知り、より愛し、貢献しようという気持ちを育てていきたいと考えています。

●本号では、「ふくしま教育の日等来校の御礼」「学校評議員会等開催、民生委員・児童委員訪問」「御寄贈」「生活習慣の見直し」について、お知らせいたします。 ※ 日々の教育活動はホームページに掲載中です。

ふくしま教育の日、ふくしま教育週間の行事等来校の御礼

1学期に引き続き、2学期の教育活動に関しましても、行事等の設定や参観の実施方法・内容について御理解と御協力、そして学校や陸上競技場に足を運んでくださりまして大変ありがとうございました。

子どもたちは「音楽学習発表会」に向けて、学級全体及び個人のめあてをもちながら、音楽科学習の時間に歌や合奏の演奏発表の練習を重ねてきました。また「校内持久走大会」に向けて、体育科学習の時間をはじめ、業間や昼休み時間を利用して、自分のペースをつかみながら走り続ける練習を重ねてきました。いずれの行事においても、子どもたちの表情や姿からは、“やればできるようになる力が身に付く(高まる)”という満足感や充実感、そして何より達成感が伝わってきました。保護者の皆様からは「とても感動しました。」「開催していただき、ありがたいです。」等の声が昨年と同様に寄せられています。活動継続の大切さを実感しています。

また「フリー参観」では、設定した「食に関する指導(市内栄養教諭等による)」「思春期保健講座(市健康づくり課担当による)」以外にも、各学級での授業参観をはじめとして、掲示及び展示による子どもたちの作品を鑑賞していただきましてありがとうございました。子どもたちの成長ぶりを感じ取っていただけたのではないのでしょうか。

さらに「個別懇談」では、学校における子どもたちの活動のよさ、よりよい成長に向けた今後の取組等についてお伝えしました。その際、家庭における子どもたちの様子、教育に関する考えや悩みごと等をお聞かせくださりましてありがとうございました。限られた時間ではありましたが、家庭と学校が連携・協働するとともに、子どもたちの育ちを共に支援していくための話し合いができたと感じております。大変ありがとうございました。

最後になりますが、1学期末と同様に「Hyper Q-U検査(よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート)」の結果を配付します。○学級生活の満足度 ○積極的な取組具合 ○配慮やかかわりのスキル等に関する対処法を参考にしながら、引き続き適切な対応に生かしていきます。

第2回学校評議員会 並びに いじめ防止対策会議の開催、 大甕地区 民生委員・児童委員による学校訪問

11月15日(月)には大甕地区 民生委員・児童委員の皆様、12月16日(木)には学校評議員の皆様がご来校くださいました。各学年の授業参観や概要説明等により、学校教育活動の推進状況を御理解いただきました。懇談会には次の内容を取り上げました。「新型コロナウイルス感染防止対策」「学習や体力・運動能力の状況」「いじめ防止の取組」「タブレット端末の活用」「登校・下校の状況」「世代間交流事業」「生涯学習センター事業」等。様々な話題を通して有意義な時間となりました。御要望・御意見等を基に、今後の教育活動に生かしていきます。

大甕ふるさとづくり推進協議会様より「応援メッセージ」

令和2年度にはコロナ禍の状況により実施を見送った世代間交流事業でした。令和3年度は実施方法等を工夫し、大甕ふるさとづくり推進協議会の皆様にお世話いただきながら、さつまいもの苗植えと収穫を行うことができました。豊かな心を育むためにも、交流を伴う体験活動は、やはり有意義であると感じた事業でした。子どもたちが力強く前に進んでほしいとの願いから、12月16日(木)協議会の皆様より、心温まる贈り物をいただきました。大変ありがとうございました。20日(月)全校朝の会にて紹介した後に、学級で一人一人に渡しました。

大甕コスモスクラブ様より「資源回収事業収益金の御寄贈」

12月20日(月)大甕コスモスクラブの皆様より、大甕幼稚園・大甕小学校へ、資源回収の利益(一部)の御寄贈があり拝受しました。大甕コスモスクラブ(正式名称)は、大甕地区内の融和と社会福祉のためにコミュニケーションの推進を図ることを目的として、昨年9月に大甕地区高齢者会(仮称)として設立・発足した組織です。今回の御寄贈に当たって、環境美化についての意識向上につなげていきたいと考えてます。

資源ごみ回収事業の紹介 資源(新聞紙・雑誌・段ボール等の紙類)回収事業は、大甕生涯学習センター隣接敷地にコンテナを設置して回収を行っているとのこと。

「持ち込み日の指定は特に“なし”」「毎月第一月曜日に業者に引き渡し」

小学校においてできることから活動へ参加していきたいと考えていますので、各家庭におかれましても、大甕コスモスクラブ活動への御理解と御協力をどうぞよろしく願いいたします。

生活習慣の見直し ※「運動(活動)」「栄養(食事)」「休養(睡眠)」の視点から…

「食に関する指導」「朝食について見直そう週間」を受けて

市内小中学校に勤務する栄養教諭等の外部講師を招いて「食に関する指導」を行いました。発達段階に合わせて「食べることの大切さや必要性」「どのように食べると効果的なのか」「食物の栄養素」「栄養バランスのよい食事」「和食の文化」等について深く学ぶことができました。

また、「朝食について見直そう週間」には「朝食をとることの大切さや必要性」「朝食のとり方」等を振り返りました。<南相馬市：食に関する意識調査結果> ●Q：朝食を食べるか。A：「毎日食べる」児童が約9割、「食べる日と食べない日がある」児童が約1割、●Q：起床後、朝食を食べ始めるまでの時間…。A：「30分以内」の児童が約9割、「30分～1時間以内」の児童が約1割 となっており、就寝や起床の時刻との強い関連性があると思われます。朝食で食べた炭水化物は消化吸収の段階で「ブドウ糖」に変わり脳の唯一の活動エネルギーとなるため、様々な活動に必要な不可欠だと言われています。朝食をしっかり摂取したいものです。

「早寝・早起き・朝ごはん」運動は既に推奨・継続されているところですが、日中(太陽)の光を浴びるとともに、適度な運動(活動)を行うことが質のよい睡眠につながると言われています。睡眠時間が不足して体調を崩しやすくなっている姿も見られますので、免疫力を高めるためにも、運動(活動)・栄養(食事)・休養(睡眠)を心がけた生活習慣の確立を目指す必要があります。

長期休業中には、生活習慣が少々変化することが考えられます。冬休み期間中も規則正しい生活を送ることができるよう、ご家庭での声かけをお願いいたします。